

## 第8回水・緑と観光を繋ぐ回廊計画推進協議会 会議録

1 日 時 令和2年3月（書面開催）

2 内 容

- （1）令和元年度における事業の取組状況について
- （2）令和2年度における事業の予算措置状況について

3 配布資料

資料1 みずほきらめき回廊 令和元年度の取組

資料2 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画 令和2年度における予算措置状況について

4 意見・質問等

（田中都市計画審議会会長）

狭山池上流部の整備計画について

・平成24年3月、プロジェクト事業として「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」がスタートしました。この事業の最大の目玉は残堀川の源流である、狭山池上流部をいかに整備して魅力ある観光に繋げる回廊を進めるかにあると思います。しかしながら、事業がスタートして8年、狭山池上流部の整備は一向に進まず、計画当初からわかってきた土地問題の解決が難しいことから親水路計画やハード事業などが見直されてしまいました。見直された「生産ゾーン」「交流ゾーン」の事業は現在耕作している限られた人たちの交流ゾーンになってしまうのではないかと危惧しています。町外の人たちや、一般の方たちが楽しみを目的に訪ねてくれるのでしょうか。インパクトのある事業を進めるべきです。

（回答）

インパクトのある事業を進めるべきというご意見ですが、当初から上流部の課題として道や駐車場などの問題があり、問題の解決に向けて、都の補助金を活用した整備を進めるうえでのステップとして、平成30年度に狭山池上流部調査設計委託を実施し、基本計画書を策定しました。その中で、道路整備や共同利用施設整備を行う場合の費用対効果分析では総費用総便益比が0.11と極めて少ない数値であり、東京都から事業実施の効果は得られないため、補助金の対象にならないという意見でした。この結果を踏まえて、現在行っている花畑や小麦畑などのソフト事業の拡充を進めるほか、収穫した小麦などを活用した事業を実施することで集客を図り、瑞穂の原風景を守っていく現実的な計画をすすめていきたいと考えています。具体的には今後の狭山池上流部整備部会で協議していきます。

・当該区域に存在している「道」「水路」の底地の所有者は誰でしょうか。仮に私有地であれば無償譲渡交渉などを進め早急に整備すべきです。

(回答)

当該区域に存在している道や水路のほとんどは町が管理しているものですが、道路として利用している一部に私有地が含まれている場所があります。この部分につきましては、町道として利用できるよう、今年度用地買収して道路として認定する予定があります。

瑞穂町のホームページについて

・みずほきらめき回廊のトピックス（イベント情報）をクリックすると、何故か「現在登録されていません」とでてきます。耕心館では、一年を通して様々な催し物やイベントを開催しています。催し物やイベントの中には「きらめき回廊」の横断幕やのぼり旗が掲げられています。しかしながらホームページでは「現在登録されていません」と表示されています。何故ホームページに載せて町のイベント情報等を町外にアピールしないのでしょうか。街頭 PR を実施している中で瑞穂町の存在を知った人たちは、ホームページで情報を得ようとする人もいます。積極的にホームページに掲載し、アピールすべきだと思います。街頭 PR とホームページの一体感で大きな効果が発生すると思います。

(回答)

町ホームページ上のみずほきらめき回廊特設ページにある「トピックス（イベント情報）」では、ひまわり畑やカタクリの紹介、また、JRのイベントである「八高線の写真を撮って、缶バッチにしよう」というイベントと回廊巡りを連携させるなどして随時掲載していますが、ご指摘のとおり耕心館等のイベントについては掲載されていませんでした。今後、耕心館・けやき館でのイベントも含めホームページに掲載し、PRしていきます。

・広報みずほには、きらめき回廊が掲載されています。これもホームページに掲載してPRすべきです。町外の人たちはホームページが大きな情報源です。

(回答)

現在ホームページでは、町の見所を巡る「回廊レポート」を随時更新し、情報を発信していますが、広報みずほに掲載されている回廊の記事についても併せて掲載し、PRしていきます。